



和食文化ネットワーク近畿

【情報提供 第 58 号 2024/1/11】



【ちょっとコラム】

2024 年になりました。本年も「和食文化ネットワーク近畿」をどうぞよろしくお願いいたします。

この度の能登半島地震で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、1 日も早く平穏な日々が戻ることをお祈りいたします。

さて、去る 1 月 7 日は人日の節句。皆さんは七草粥召し上がられましたか？

7 日は松の内（1 月 1 日～7 日）の最後の日ということで、お正月にご馳走をいただいて疲れた胃腸をいたわるために七草粥を食べ、新年の無病息災を願うようになったといわれています。

（一般社団法人和食文化国民会議 HP より）



【目次】

1. 近畿地域の情報

- ▶ 「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪」の開催について
- ▶ 令和 5 年度「和食・食文化シンポジウム」のフォトレポートが公開されました！

2. 農林水産省

- ▶ 広報誌 aff（あふ）最新号：特集「丸ごとニッポンいただきます！」01 おいしい“地元”の食べ方入門～東日本編～

3. 一般社団法人和食文化国民会議

- ▶ YouTube 配信中：ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～

4. 会員様からのお知らせ

- ▶ 高知県 ひがしこうち香酸柑橘類研究会 百田様

5. 事務局からのお知らせ

1. 近畿地域の情報

「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪」の開催について

農林水産省は、食の外部化・簡便化が進むなかで、日本の食と農を取り巻く課題を身近なものとして考えてもらうために、消費者と生産者や事業者とが出会い、交わることで、食への新たな気づきや発見を促し、意識や行動を変えていくためのきっかけづくりとして「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

この度、グランフロント大阪（北館 1 階ナレッジプラザ、無印良品イベントスペース他）にて、身近な食である「餃子」と「カレー」等を通して、日本の食や農が抱える課題や目指す未来について、ともに考えるきっかけとするイベント「NIPPON FOOD SHIFT FES.大阪」を開催します。

Z 世代等による「食」についてのトークセッション、農家エッセイ・コミックのパネル展示、学生の活動を紹介した展示、日本全国の生産者たちがつくる農産物を扱ったマルシェの出店、近畿農政局の活動紹介等、多彩な展示や催しが行われますのでぜひお立ち寄りください。

●日時：令和 6 年 1 月 13 日（土）11 時 00 分～18 時 00 分、14 日（日）11 時 00 分～17 時 00 分

●場所：グランフロント大阪 北館（大阪府大阪市北区大深町 3-1） 1 階ナレッジプラザ／2-4 階 無印良品 店舗エリア

●プレスリリース：<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/231226.html>

●公式サイト：<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/fes/osaka20240113/>

令和 5 年度「和食・食文化シンポジウム」のフォトレポート公開中！

昨年多くの方々にご聴講いただきました「令和 5 年度 和食・食文化シンポジウム～醤油からみる関西の和食・食文化～」のフォトレポートが近畿農政局ホームページにて公開されました。
よろしければご覧ください。

●[令和5年度「和食・食文化シンポジウム」を開催しました：近畿農政局 \(maff.go.jp\)](https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/231226.html)

2. 農林水産省

広報誌 aff（あふ）最新号

特集「丸ごとニッポンいただきます！」01 おいしい“地元”の食べ方入門～東日本編～

農林水産省の広報 Web マガジン「aff（あふ）」最新号の特集は「丸ごとニッポンいただきます！」日本全国の地元ならではの料理やおいしい食べ方、地産地消の取組をご紹介します。第一弾の記事はおいしい“地元”の食べ方入門～東日本編～です。

●詳細はこちら：[aff（あふ）最新号：農林水産省（maff.go.jp）](https://aff.go.jp/)

3. 一般社団法人和食文化国民会議

ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント

「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～を YouTube にて配信中

昨年 12 月 4 日（月）に、和食のユネスコ無形文化遺産登録 10 周年を祝して開催された「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～。
挨拶、ならびに「和食と健康」をテーマに行われた講演やパネルディスカッションが YouTube にて配信されています。

●詳細はこちらから：<https://washokujapan.jp/info/info-20231226/>

4. 会員様からのお知らせ

和食文化ネットワーク近畿の会員様である、ひがしこうち香酸柑橘類研究会の百田様より先月に引き続き、情報提供いただきましたので以下掲載させていただきます。

先月ご案内の企画展「田村利親と土佐の柑橘」の関連イベントとしてシンポジウムを開催致します

タイトル：高知の柑橘をめぐって－歴史と文化・現在と未来

日時：2023 年 1 月 28 日（日）13 時 30 分から 16 時 30 分

会場：[高知市立自由民権記念館](#) 1 階 民権ホール

主催：高知市立自由民権記念館 [特定非営利活動法人 地域文化計画](#)

共催：[中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会](#)

協力：[ひがしこうち香酸柑橘類研究会](#)、白木果樹園

参加費：無料

申 込 : 会場参加: 申込不要、オンライン参加: 要・事前申込(1月26日18時締切)

高知市立自由民権記念館企画展「田村利親と土佐の柑橘」連携シンポジウム

高知の柑橘をめぐって

ー歴史と文化・現在と未来

入場無料

[日 時] ▶▶▶ 令和6年1月28日(日)
13:30~16:30
どなたでも参加いただけます。オンライン配信での参加は、事前申込が必要です。

[会 場] ▶▶▶ 高知市立自由民権記念館 1階 民権ホール
高知市横橋通四丁目14番3号(駐車場有)

高知市立自由民権記念館で開催中の企画展「田村利親と高知の柑橘」にあわせ、現在の高知県を代表する柑橘である「ゆず」を活用した地域活性化の調査研究を進めている中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会と共同で開催するシンポジウムです。

柑橘が高知県の園芸を代表する分野となった背景には、柑橘を愛好し、栽培してきた高知県人と柑橘の長い歴史と文化があります。そこから生まれてきた酢みかんの利用は近年高知の食文化として認められつつあり、さらに田村利親という類まれな柑橘研究家の存在も発掘されました。

また高知県東部中芸地域は日本を代表するゆず生産地であり、その食文化と栽培の歴史の物語は文化庁から日本遺産に認定され、さらに「ゆず料理」は100年フードの認定も受けています。

高知の柑橘は、今後も高知県人の豊かな食を支え、観光も含めた産業の一翼を担う存在として替えのきかないものになっていくことが期待されています。

本シンポジウムは、その後押しとなるネットワークの構築を目的としています。これまでとは異なる組織、グループで取り組んできた高知の柑橘に関する調査研究の成果・途中経過を共有する場として企画しました。

主 催	高知市立自由民権記念館 特定非営利活動法人 地域文化計画
共 催	中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
協 力	ひがしこうち香酸柑橘類研究会 白木果樹園

高知市立自由民権記念館企画展「田村利親と土佐の柑橘」連携シンポジウム

高知の柑橘をめぐってー歴史と文化・現在と未来

プログラム

開会あいさつ 簡井 秀一 氏(高知市立自由民権記念館館長)

▶▶▶ 記念スピーチ 13:35~
柑橘のルーツ~ゆずはどこから来たのか?~
講師:北島 宣 氏(京都大学名誉教授)

▶▶▶ 第1部 高知と柑橘 14:00~
① 高知県の柑橘栽培の現状
山崎 安津 氏(高知県農業技術センター果樹試験場)
② 「柑橘の効用」(田村利親記)と『柚珍秘密箱』再現(中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事業)に向けて
百田 美知 氏(特定非営利活動法人 地域文化計画)
③ 田村利親の生涯と柑橘研究
中村 茂生 氏(特定非営利活動法人 地域文化計画)

▶▶▶ ロビー展示 15:00~
土佐文旦についてー展示と解説
解説:白木果樹園・園主 白木 浩一 氏

▶▶▶ 第2部 質疑応答と意見交換 15:30~
登壇者:北島 宣 氏・橋本 博好 氏(元・高知県農業技術職員)・山崎 安津 氏・
百田 美知 氏・中村 茂生 氏
コメンテーター:水上 元 氏(高知県立牧野植物園 前園長)

閉会あいさつ 中嶋 健次 氏(中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局長)

参加方法

本シンポジウムは、会場及びオンライン配信で参加できます。

▶▶▶ 会場での参加: 申込不要です。

▶▶▶ オンライン(Zoom)配信での参加: 右記のQRコード、またはURLリンク先(https://x.gd/GhPrU)よりお申込みください。

※ 申込期限: 1月26日(金)18時

お問合せ先 特定非営利活動法人 地域文化計画 (高知市本町4丁目1-37 丸ノ内ビル1-7)
TEL 080-6721-3074 MAIL info@opalh.jp



* この企画展は農林水産省のホームページに「和食」のユネスコ無形文化遺産登録10周年を記念するイベントとして掲載されています。

企画展・シンポジウムについては下記 SNS から情報発信中

- ・ FaceBook : <https://www.facebook.com/tamura.tosanokankitsu/>
- ・ Instagram : <https://www.instagram.com/tamuratoshichikatosanokankitsu/>

5. 事務局からのお知らせ

(1) 当メールマガジンへの掲載記事を募集します!!

地域の和食文化ネットワーク近畿では、食文化の保護・継承活動に関する情報を発信しております。

当メールマガジンを通じて、会員様主催のイベント等のご案内、会員様の取組紹介や地域に伝わる食文化の情報など発信しませんか。

会員の皆様から、広く発信・共有したい情報等がございましたら、以下をご記入の上、本メールにご返信願います。

